

タカスタンダード株式会社への企業訪問について

訪問概要

【訪問企業】 タカスタンダード株式会社
 【訪問日】 平成30年5月11日(金)
 【主な出席者】
 <タカスタンダード株式会社> 武執行役員
 <大阪労働局> 田畑労働局長



左：タカスタンダード株式会社 武執行役員
 右：大阪労働局 田畑局長

意見交換

働き方改革に向けた主な取組(抜粋)

項目	主な内容
時間外労働削減に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆時間外労働の削減に向け、全社をあげて各種取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・36協定・特別条項の延長時間を短縮（営業部門、工場共に段階的に短縮）。 ・全社的に社内システムの稼働時刻や最終施錠時刻を原則として20:30とする。 ・ショールームの営業時間を短縮(閉館時刻を18:00から17:00へ)。
有休等休暇取得に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆有休取得の進捗管理や各種制度を活用 <ul style="list-style-type: none"> ・部署毎の取得状況を数値で把握し、進捗管理を行う。 ・年2日のアニバーサリー休暇や、年5日を全社で一斉に取得する計画年休制度を活用。 ◆管理職の休暇取得促進 <ul style="list-style-type: none"> ・管理職が率先して休暇を取得することで、休みやすい環境作りを図る。 また、管理職についても、休日勤務をした場合は代休を付与する。
ダイバーシティ推進取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆環境整備により育児休業取得率は着実に向上している <ul style="list-style-type: none"> ・男女の育児休業取得に向け育児休業の開始から7日間を有給扱いとする等、育休取得の環境を整備し、取得率は右肩上がりが増えてきている。(また小学校就学の始期までは時差出勤を可能とする) ◆エリア総合職の導入やコース転換制度 <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内での転居を伴う異動は発生するが、寮の貸与等、総合職(全国転勤)と同様の扱いを受けることができる。 ・コース転換制度として、総合職・エリア総合職・一般職への転換が可能。

武執行役員より

- ✓ 時間外労働の削減に向け、社内システム稼働時間や最終施錠時間の短縮等、制度面の整備を進めている。こうした働き方改革と健康経営を着実に進めていく。
- ✓ 有休取得は特に営業部門で改善の余地があり、今後取得率を更に向上させたい。
- ✓ 女性管理職人数の増大や育成に向け、各種研修を実施しており、全管理職の人材育成と併せ今後も取組を進めていく。

田畑労働局長より

- ✓ 男女共に働きやすい職場環境の実現に向け、時間外労働の削減や有休取得率向上に向けた取組を着実に進められている。有休取得は生産性の向上とも関連するため取得率の更なる向上に向けフォローいただきたい。
- ✓ 女性管理職の増大や育成について、時差出勤制度や在宅勤務等の両立支援と併せて各種取り組まれているところである。なお一層取組を進めていただき、今後の人材の育成に期待している。